

レシピ動画における魅力的な動画の構図分析

馬場ひなの† 杉山岳弘‡
静岡大学†‡

1. はじめに

スマートフォンやタブレットの普及により、インターネット・SNS上で動画コンテンツを毎日見るといふ人が増えている。この動画視聴の形は、動画共有サイトで時間をかけて視聴するという従来の動画視聴スタイルに限らず、SNS上でタイムラインに流れてきた短時間の動画を意識せずに見る視聴スタイルに変化してきた。SNS動画の中でも、料理動画を数分以内で短く編集した短編レシピ動画の人気が高く、多くの企業が参入している。

津曲(2018)[1]はSNS動画の代表的な例である短編レシピ動画の魅力は「見た目」・「迫力(インパクト)」・「複雑性(わかりやすさ)」によって決まり、これらに対応する映像の特徴的な要素があると分析した。しかし、各調理工程シーンに用いられる要素や構図の特徴など、更に検討の余地があると考えた。本研究では、各工程に用いられている画面レイアウト・構図そのものについて、さらに分析を行う。

2. 本研究のアプローチ

本研究では、新しい動画視聴スタイルの一例であるレシピ動画において人を惹きつける視覚的な要素となる画面レイアウト・構図を明らかにするため、魅力的な動画で用いられる調理シーンの画面レイアウト・構図を検討する。具体的には、短編レシピ動画における構図・調理工程の分類を行い、魅力的な動画に用いられる画面レイアウト・構図を明らかにする。

3. 分析対象

本研究ではSNS動画を代表する短編レシピ動画における画面レイアウト・構図を明らかにするため、以下の条件をもとに分析するレシピ動画メディアを選定する。

- 1) 料理のレシピ動画を公開していること
- 2) 30秒～2分の短編動画であること
- 3) 日本国内のメディアであること
- 4) Youtube, Twitter, Instagramのうちいずれかで動画を公開していること
- 5) フォロワー数が10万人以上であること

以上の条件を満たす以下の6つを対象とし、各メディアから5本、計30本の動画を選定した。

- DelishKitchen(<https://delishkitchen.tv/>)
- Kurashiru(<https://www.kurashiru.com/>)
- TastyJapan(<https://www.buzzfeed.com/jp/tastyjapan>)
- TastemadeJapan (<https://www.tastemade.jp/>)
- macaroni (<https://www.buzzfeed.com/jp/tastyjapan>)
- C CHANNEL(<https://www.cchan.tv/>)

今回はその中から DelishKitchen、Kurashiru の計10本の分析結果を示す。

4. 分析方法

本研究の分析では、選定した短編レシピ動画において自動的にカットを抽出したものを図1のように一覧表にする。それぞれのカットについて項目を記述し、構図の分類を行う。

CUT		Time	Scene	調理工程	対象物	中心点	カメラ	カメラアングル	撮影	食品	食品
1	00:00	00:00	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程
2	00:02	00:02	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程
3	00:03	00:03	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程
4	00:03	00:03	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程
5	00:05	00:05	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程	調理工程

図1. 分析シート例

分析項目を表1～4に示す。対象物およびテロップはフレームを縦、横それぞれ三分割し、中心点を基準に分類する(表1)。画角は画面に対して対象物が写る範囲を分類する(表2)。カメラアングルは、対象物を撮るカメラの位置を分類する(表3)。また、これらの構図がどの調理工程で用いられているか、9つに分類する(表4)。

表1. 対象物/テロップの配置

1 左上	4 中央上	7 右上
2 左中央	5 中央	8 右中央
3 左下	6 中央下	9 右下

表 2. 画角

	対象物	背景余白
A	全体	縦横余白あり
B	全体	縦または横余白なし
C	一部分	あり
D	一部分	なし

表 3. カメラアングル

名前	対象物を撮る位置
真俯瞰	真上から対象物を撮る
斜俯瞰	斜め上から対象物を撮る
水平	水平位置、真横から対象物を撮る

表 4. 調理工程

1	切る	包丁等を用いて食材を切る
2	成形する	食材の形を整える・重ねる
3	混ぜる	食材をボウルなどで混ぜる
4	調味する	食材に味をつける
5	焼く	フライパン等を用いて焼く
6	飾り付ける	トッピング等飾り付けする
7	盛り付ける	皿に盛り付ける
8	放置する	冷やす、乾かす等
9	食べる	箸などを用いて食べる

5. 分析結果

対象動画の各カットで用いられたカメラアングルと画角の組み合わせを集計し、各調理工程で最も多く用いられた組み合わせを表5に示す。また、各工程に用いられた構図の例を図2に示す。

表 5. 各工程で最も多いカメラアングル・画角の組合せ

工程	カット数	最も多い組み合わせ	
切る	48	真俯瞰・A	43
成形する	56	真俯瞰・A	40
混ぜる	114	真俯瞰・A	107
調味する	9	真俯瞰・A	9
焼く	73	真俯瞰・B	46
飾り付ける	3	斜俯瞰・B	3
盛り付ける	29	斜俯瞰・C	11
放置する	29	真俯瞰・A	15
食べる	26	斜俯瞰・C	15
計	387		

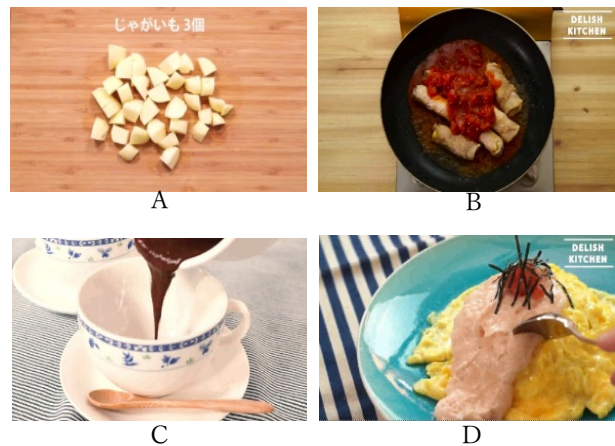


図 2. 各工程に用いられた構図の例

6. 考察

分析した短編レシピ動画について具体的に考察する。対象動画全体を通して、以下のような特徴があった。

【レシピをわかりやすく説明する真俯瞰】

切る、成形するといった調理工程では、全ての動画において真俯瞰が最も多く用いられている。これらは、真俯瞰にすることで、レシピの説明が必要になる調理工程をわかりやすく説明していると考えられる。

また、真俯瞰と画角 A の組み合わせは、図 2-A のように切る、混ぜるなどで多く用いられた。一方で真俯瞰と画角 B の組み合わせは、図 2-B のように焼くで用いられており、近づいた画角にすることで、焼き目など対象物の変化がわかりやすくなっている。

【料理を印象的に見せる斜俯瞰】

図 2-C, D のように、盛り付ける、食べるは全ての動画で斜俯瞰が用いられていた。この 2 つの工程は料理を印象的に見せる工程であり、斜俯瞰が対象物を印象的に写すために用いられていると考えられる。

7. まとめ

本研究では、SNS 動画の一例である短編レシピ動画の構図・レイアウトを分析し、魅力的な動画に用いられる構図・レイアウトを明らかにした。

参考文献

- [1] 津曲亜美,『新しい動画視聴スタイルにおける魅力的な動画の要因分析とパターン化～レシピ動画の例から～』, 情報処理学会第 80 回全国大会, 3ZE-04, 2018